

栃木産大麦使った「県庁ビール」

スカイツリーで配布

県がPR

農林公園「ろまんちっく村」などを運営するフアーマーズ・フォレスト(宇都宮市)は栃木県産の二条大麦を使用した地ビールを製造した。県が

農産物をPRする狙いで企画し、通称は「県庁ビール」。22日に開業する東京スカイツリー(東京・墨田)のアンテナ店などで無料で配布する。

県庁ビールの仕込み水には国の名水百選に認定された塩谷町のわき水「尚仁沢湧水」を使った。アルコール度数は7・5%とやや高めで、重厚感

のある口当たりが特徴という。

同時に醸造業の栃木マイクロブルワリー(宇都宮市)も県産のイチゴと「ちひめ」を使った発泡酒「麦と苺の不思議な関係」を製造した。両製品とも東京スカイツリー内の「とちまるショップ」などで配る。